教える者と学ぶ者が互いに切磋琢磨し合う 緒方洪庵の「適塾」の志を伝える*

2017年度『 CIM塾(東京) 』開講のご案内

主催 :大阪大学 大学院工学研究科 環境・エネルギー工学専攻 環境設計情報学領域(矢吹研究室)
後援 :(一財) 日本建設情報総合センター / (一社) Civil ユーザ会

国土交通省では, i-Constructionのトップランナー施策である「ICTの全面的な活用」の推進に向け, 3次元モデルを活用し, 社会資本の整備、管理の効率化・高度化を図るCIM(Construction Information Modeling/Management)を、土工、トンネル、橋梁、ダム等へ本格導入するため、「CIM導入ガイドライン」を策定・公開しました. 2016年度に大阪大学にて「CIM塾」を初めて開講し, 11名の塾生が卒業しました. 今年度は, 短期間に集中的に必要な事項とスキルを学ぶことができるよう, パワーアップした『CIM塾』を以下の要領で開催致します. 奮ってご応募下さい.

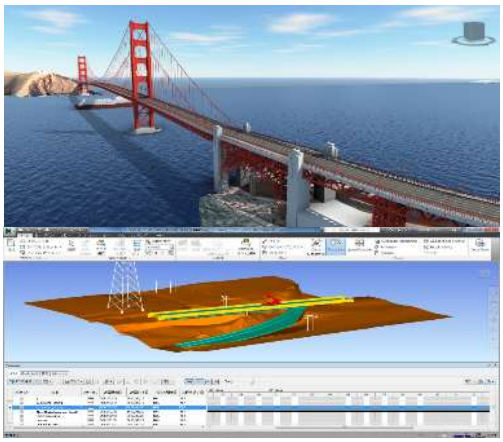


■『 CIM塾 』 開催要領 最大募集人員:20名

【1】日時:2017年7月31日(月)～8月1日(火) 1泊2日
【2】場所:晴海グランドホテル(都営大江戸線・勝どき駅徒歩7分)
【3】受講対象者:発注者・測量者・設計者・施工者・ベンダー・CIMプロジェクト推進者・CAD従事者
【4】受講費用:¥150,000-(税抜)
受講費用には, テキスト, PC使用, 宿泊費, 1日目の昼食, 夕食, 2日目の朝食, 昼食を含む。
【5】開催内容
本塾では、CIMに関する学問的なバックグラウンドと最新情報を座学で習得し、3Dプロダクトモデル構築に必要なソフトウエアについてスクール形式で実機を用いて基本操作を学習する。同時に、造成、高速道路、道路、河川、橋梁、上下水道などの3Dプロダクトモデル構築を課題を通じて実際に行ない、最終的にはプレゼンテーションファイルを作成するところまで行う。また, CIMのケーススタディも行う.
(1) 受講形態 : 座学およびスクール形式によるPC操作, 演習.
(2) 習得目標 : CIMスキルレベルⅡ (別紙参照)
(3) 利用ソフト: Autodesk Civil 3D / Revit / InfraWorks を中心とし, その他のソフトについても説明を行う.
(4) 受講時間割:第1日目(7月31日)10:00集合, 10:00～21:00 講義と演習, 21:00～22:00 質疑応答
第2日目(8月1日)8:00～18:00 講義と演習 18:00解散

*:大阪大学の源流の一つは緒方洪庵の適塾です.





一般社団法人Civilユーザ会 CIM塾 事務局 (担当:石川)
〒170-0014 東京都豊島区池袋二丁目11番9号 安藤ビル2階 TEL 03-5949-3122 (お問合せは左記へ)

お申し込みは裏面の申込書でFAXでお申し込みください。(御問合せは上記にお願いいたします。)

『 CIM塾 (東京 2017_7_31 - 8_1) 』受講申込書

一般社団法人Civilユーザ会 CIM塾 事務局 御中

FAX 03-3981-0131　　■ 申込欄に必要事項を記載の上、FAX で上記までお送りください。

受 講 申 込 欄	
貴社名	ご芳名
所属部署	役職
TEL	E-Mail
受講用パソコン・ソフトについて	□CIM塾設備を利用　　□持ち込み □以下を申し込む
ご質問欄	

『 CIM塾 』受講に伴うソフトウエア、ハードウエアについて

『 CIM塾 』受講の際のハード・ソフトの利用料は大阪大学の設備を利用しますので受講料に含まれます。自習・業務適用のため学外で利用されたい場合は、以下のような環境が必要です。別途費用を頂く事により、環境整備をご支援いたします。

(1) ハード : ノート型のモバイルWS (下記推奨スペック) ・・ 参考価格 : ¥312,120-(税込)

本体 HP ZBook 15 G3 Intel Core i7-6700HQモデル / Windows 10 Pro (64bit) (日本語版)
インテル Core i7-6700HQ プロセッサー (2.6GHz - 3.5GHz、コア数4、キャッシュ 6MB)
32GB 2133MHz DDR4 (8GBx4) / ディスプレイ 15.6インチワイド フルHD液晶
NVIDIA Quadro M1000M 2GB GDDR5 / ストレージ 500GB SSHD(5400RPM, 8GBキャッシュ)

(2) ソフト: Autodesk 社製『 CIM塾 』利用ソフトウエア ・・・ 参考費用 (年間利用料) : ¥442,800-(税込)

AEC Collection (http://www.autodesk.co.jp/collections)







教える者と学ぶ者が互いに切磋琢磨し合う 緒方洪庵の「適塾」の志を伝える*

2017年度『 CIM塾(大阪) 』開講のご案内

主催 :大阪大学 大学院工学研究科 環境・エネルギー工学専攻 環境設計情報学領域(矢吹研究室)
後援 :(一財) 日本建設情報総合センター / (一社) Civil ユーザ会

国土交通省では, i-Constructionのトップランナー施策である「ICTの全面的な活用」の推進に向け, 3次元モデルを活用し, 社会資本の整備、管理の効率化・高度化を図るCIM(Construction Information Modeling/Management)を、土工、トンネル、橋梁、ダム等へ本格導入するため、「CIM導入ガイドライン」を策定・公開しました. 2016年度に大阪大学にて「CIM塾」を初めて開講し, 11名の塾生が卒業しました. 今年度は, 短期間に集中的に必要な事項とスキルを学ぶことができるよう, パワーアップした『CIM塾』を以下の要領で開催致します. 奮ってご応募下さい.

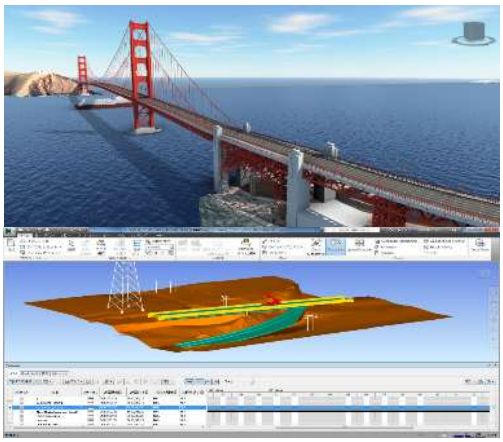


■『 CIM塾 』 開催要領 最大募集人員:20名

【1】日時:2017年6月20日(火)～6月21日(水) 1泊2日
【2】場所:ホテルクライトン新大阪 (地下鉄御堂筋線・西中島南方駅徒歩3分)
【3】受講対象者:発注者・測量者・設計者・施工者・ベンダー・CIMプロジェクト推進者・CAD従事者
【4】受講費用:¥150,000-(税抜)
受講費用には, テキスト, PC使用, 宿泊費, 1日目の昼食, 夕食, 2日目の朝食, 昼食を含む。
【5】開催内容
本塾では、CIMに関する学問的なバックグラウンドと最新情報を座学で習得し、3Dプロダクトモデル構築に必要なソフトウエアについてスクール形式で実機を用いて基本操作を学習する。同時に、造成、高速道路、道路、河川、橋梁、上下水道などの3Dプロダクトモデル構築を課題を通じて実際に行ない、最終的にはプレゼンテーションファイルを作成するところまで行う。また, CIMのケーススタディも行う.
(1) 受講形態 : 座学およびスクール形式によるPC操作, 演習.
(2) 習得目標 : CIMスキルレベルⅡ (別紙参照)
(3) 利用ソフト: Autodesk Civil 3D / Revit / InfraWorks を中心とし, その他のソフトについても説明を行う.
(4) 受講時間割:第1日目(6月20日)10:00集合, 10:00～21:00 講義と演習, 21:00～22:00 質疑応答
第2日目(6月21日)8:00～18:00 講義と演習 18:00解散

*:大阪大学の源流の一つは緒方洪庵の適塾です.





一般社団法人Civilユーザ会 CIM塾 事務局 (担当:石川)
〒170-0014 東京都豊島区池袋二丁目11番9号 安藤ビル2階 TEL 03-5949-3122 (お問合せは左記へ)

お申し込みは裏面の申込書でFAXでお申し込みください。(御問合せは上記にお願いいたします。)

『 CIM塾（ 大阪 2017_6_20 - 6_21 ）』受講申込書

一般社団法人Civilユーザ会 CIM塾 事務局 御中

FAX 03-3981-0131　　■ 申込欄に必要事項を記載の上、FAX で上記までお送りください。

受 講 申 込 欄	
貴社名	ご芳名
所属部署	役職
TEL	E-Mail
受講用パソコン・ソフトについて	□CIM塾設備を利用　　□持ち込み □以下を申し込む
ご質問欄	

『 CIM塾 』受講に伴うソフトウエア、ハードウエアについて

『 CIM塾 』受講の際のハード・ソフトの利用料は大阪大学の設備を利用しますので受講料に含まれます。自習・業務適用のため学外で利用されたい場合は、以下のような環境が必要です。別途費用を頂く事により、環境整備をご支援いたします。

(1) ハード：ノート型のモバイルWS（ 下記推奨スペック ）・・ 参考価格：¥312,120-(税込)

本体 HP ZBook 15 G3 Intel Core i7-6700HQモデル / Windows 10 Pro（64bit）（日本語版）
インテル Core i7-6700HQ プロセッサー (2.6GHz - 3.5GHz、コア数4、キャッシュ 6MB)
32GB 2133MHz DDR4 (8GBx4) / ディスプレイ 15.6インチワイド フルHD液晶
NVIDIA Quadro M1000M 2GB GDDR5 / ストレージ 500GB SSHD（5400RPM, 8GBキャッシュ）

(2) ソフト：Autodesk 社製『 CIM塾 』利用ソフトウエア ・・・ 参考費用（ 年間利用料 ）：¥442,800-(税込)

AEC Collection (http://www.autodesk.co.jp/collections)





